



川越市立高階北小学校の取組

1 本校の概要

本校は、川越市の西部に位置し、開校49周年を迎える。児童数611名、学級数23学級の中規模校である。特別支援学級在籍が33名と多く、特別支援学級と通常学級の交流が盛んに行われている。

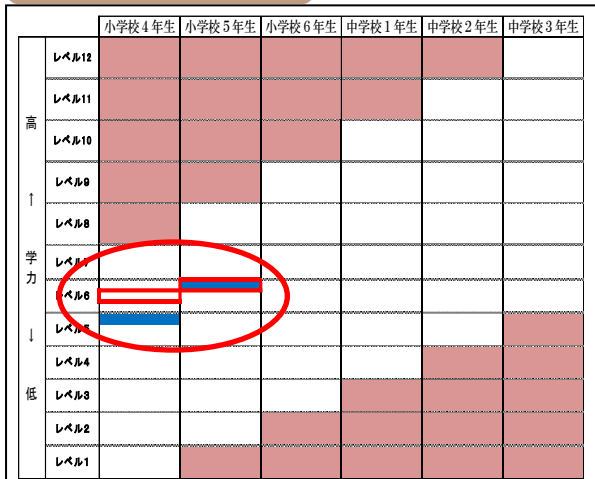
めざす学校像を『子供たち一人一人のよさを伸ばし、笑顔あふれる学校』とし、学校と家庭・地域が連携し「一人一人がよさを生かし、いきいきと活動する児童」を目指している。平成29年度から2年間、川越市教育委員会の委嘱を受け「一人一人が楽しく、わかる、できる算数科の授業づくり」をテーマに研究を進め、現在も習熟度に応じた少人数指導（クラス数+1編成）など、その研究の成果を受け継いだ授業づくりが行われている。また、ユニバーサルデザインの視点による教室環境が整っており、誰にでもわかりやすい授業の実現に取り組んでいる。

2 令和2・3年度の結果

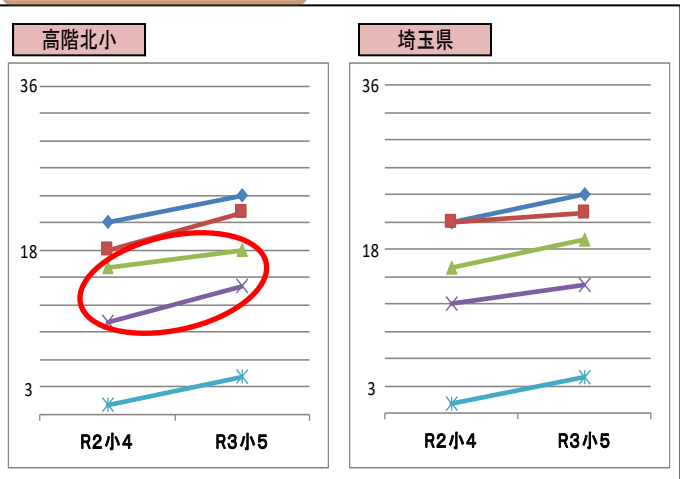
小学校4年生→小学校5年生の取組

(1) 学力の伸びが見られる特徴【国語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 小4から小5にかけて、学力のレベルが4上昇し、県平均の1上昇を大きく上回っている。
- 中位層の学力が大きく伸びている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 川越授業スタンダードの「めあて・見通し・学び合い・まとめ・振り返り」の確実な実践

各授業において、川越授業スタンダードによる学習過程をどの学級においても実践している。特に、授業の始めには本時のめあてや見通しを明らかにし、どんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組ませている。また、授業の終末では板書された大事なキーワードを使って、自分の言葉でまとめを書いたり、振り返りではわかったことや友達の考えで参考になったことなどを文章にまとめたりしている。

イ 自主学习を通じた学習の習慣化

自分の学びたいことを自己決定し、週の始めに計画を立て取り組む。毎回、めあてと振り返りを文章で書いている。また、自主学习交流会を設け、友達のノートを参考に内容や書き表し方の充実を図っている。



